

商 品 名	ポーシリス® APP-N		製造販売元 (輸入)	松研薬品工業株式会社	
本質の説明 又は製造方法	本剤は、アクチノバシラス・ブルロニューモニエ2、7及び10 型菌の培養上清を不活化し、濃縮・精製させて得たApxⅠ、ApxⅡ及びApxⅢトキソイドとアクチノバシラス・ブルロニューモニエ1型菌の培養菌体を不活化した後、濃縮・精製させて得た菌体外膜蛋白(OMP)を混合し、さらにアジュバント、乳化剤、消泡剤、保存剤、LPS吸着剤、等張化剤及び溶剤を加え乳化し、小分け分注したものです。 本剤は、白色不透明、水様の均一な懸濁液で、pHは6.0～7.0です。				
成分及び分量	小分製品 1ペットボトル 100 mL(50頭分)中 アクチノバシラス・ブルロニューモニエ ApxⅠトキソイド(シード) 2,500単位 アクチノバシラス・ブルロニューモニエ ApxⅡトキソイド(シード) 2,500単位 アクチノバシラス・ブルロニューモニエ ApxⅢトキソイド(シード) 2,500単位 アクチノバシラス・ブルロニューモニエ 菌体外膜蛋白(OMP)(シード) 2,500単位		トコフェロール酢酸エステル 7.5g ポリソルベート80 3.0g シメチコン 0.005g ホルマリン 0.054g ポリミキシンB硫酸塩 0.3mg以下 塩化ナトリウム 0.55g 注射用水 残 量		
効能又は効果	豚のアクチノバシラス・ブルロニューモニエ血清型1,2,5,7,9及び10型菌感染症(胸膜肺炎)の発症防御。				
用法及び用量	ワクチンの2mLを約6週齢以上の豚に、4週間隔で2回、頸部筋肉内に注射する。				
使用上の注意	【使用上の注意】 (基本的事項)		本ワクチンの成分の特徴		
	1. 守らなければならないこと (一般的注意) ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。 ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。 ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。 (取扱い及び廃棄のための注意) ・外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。 ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。 ・本剤には他の薬剤(ワクチン)を加えて使用しないこと。 ・小児の手の届かないところに保管すること。 ・直射日光、加温又は凍結は品質に影響を与えるので、避けること。 ・使用時にワクチンを室温に戻すこと。 ・よく振り混ぜてから使用すること。また使用中にも時々ワクチンを振盪すること。 ・注射部位を厳守すること。 ・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒した器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。 ・ワクチン容器のゴム栓は消毒し、無菌的に取扱うこと。 ・注射器具(注射針)は原則として1頭ごとに取り替えること。 ・注射部位は消毒し、注射時には注射針が血管に入っていないことを確認してから注射すること。 ・一度開封したワクチンは速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。 ・使い残りのワクチンは紙等で吸い取り可燃物として処分し、また容器は地方公共団体条例等に従い処分すること。 ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。 2. 使用に際して気を付けること (使用者に対する注意) ・誤って人に注射した場合は、患部の消毒等適切な処置をとること。誤って注射された者は、必要があれば医師の診察を受けること。その際、動物用油性アジュバント加ワクチンを誤って注射されたことを医師に告げるとともに本使用説明書を医師に示すこと。		・開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。 (豚に関する注意) ・副反応が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。 ・本剤の注射後、激しい運動は避けること。 ・本剤の注射後、少なくとも2日間は安静につとめ移動等は避けること。 (専門的事項) ①警告 本剤の注射前には対象豚の健康状態について検査し、重大な異常(重篤な疾病)を認めた場合は注射しないこと。ただし、豚がアクチノバシラス・ブルロニューモニエに感染するおそれがある時はこの限りでない。その場合、注射の適否の判断を慎重に行い、対応すること。 ②対象動物の使用制限等 対象豚が、次のいずれかに該当すると認められる場合は、本剤の有効性及び安全性を十分に勘案した上で、注射の可否を慎重に判断すること。 ・発熱、咳、下痢、重度の皮膚疾患など臨床異常が認められるもの。 ・疾病の治療を継続中のもの又は治癒後間がないもの。 ・交配後間がないもの、分娩間際のもの又は分娩直後のもの。 ・明らかな栄養障害があるもの。 ・他の薬剤投与、導入又は移動後間がないもの。 ③副反応 本剤の注射後、発熱、行動緩慢、震え、食欲不振、嘔吐(満腹な豚に注射した場合)又は注射局所の腫脹が認められることがあるが、これらの症状は注射後24時間以内には消失する。 ④その他の注意 本剤はシードロットシステムにより製造され、国家検定を受ける必要のないワクチンであるため、容器又は被包に「国家検定合格」と表示されていない。		
貯法及び有効期間	2～8℃／製造後3年間		包 装	100mL(50頭分)のペットボトル1本	

【注意】獣医師の処方箋・指示により使用すること。

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、下記【連絡先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。

【連絡先】

MSDアニマルヘルス株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
TEL.03-6272-1099(代表) FAX.03-6238-9080

ホームページ www.msd-animal-health.jp/

【製造販売元(輸入)】

松研薬品工業株式会社

〒184-0003
東京都小金井市緑町5-19-21

JP-POR-220300004 / SWP-POR-2203-04



劇 動物用医薬品 要指示医薬品 指定医薬品

豚アクチノバシラス・ブルロニューモニエ感染症(1型部分精製・無毒化毒素)・
(酢酸トコフェロールアジュバント加)不活化ワクチン(シード)

ポーシリス® APP-N

見逃すな!! APP感染による慢性症状

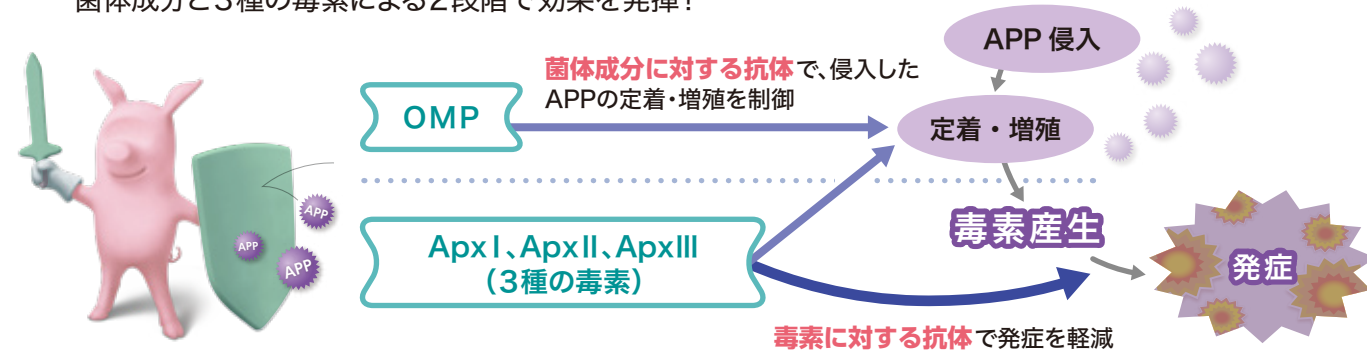


※イメージ

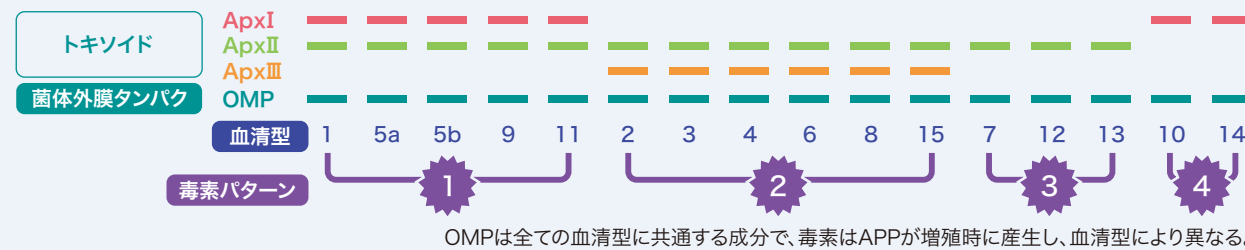
ポーシリス®APP-N 特徴的な抗原

OMP (菌体外膜タンパク) と毒素(トキシイド)によるWブロック

菌体成分と3種の毒素による2段階で効果を発揮！



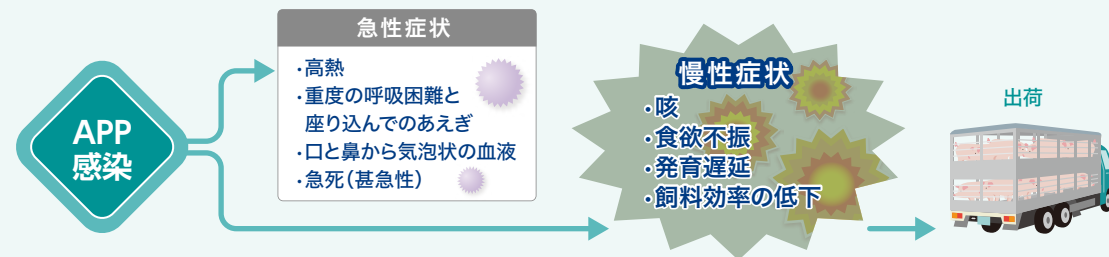
各血清型の産生する毒素パターン



豚胸膜肺炎の慢性症状

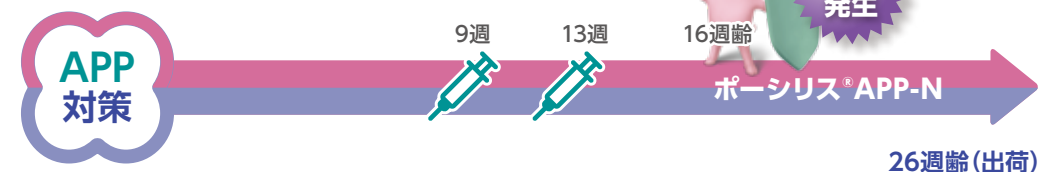
見逃すな！APP感染による慢性症状

- APPに感染した豚は、血清型、感染菌量、豚の免疫学的状態、衛生環境などにより、急性の経過または慢性の経過をたどるケースに分かれます。
- 急性型では多くのケースで臨床症状を示すため、予防や治療といった対策が取られます。
- 慢性型では臨床症状を示さないこともあるため、感染に気がつかずにそのまま出荷されるケースがほとんどです。肺や胸膜の癒着により呼吸に余分なエネルギーが生じるなど、生産性に影響を及ぼすことがあります。



ワクチネーションプログラム

ワクチネーションプログラム例



生産性の向上 ポーシリス®APP-Nの有効性

試験成績 (海外データ)

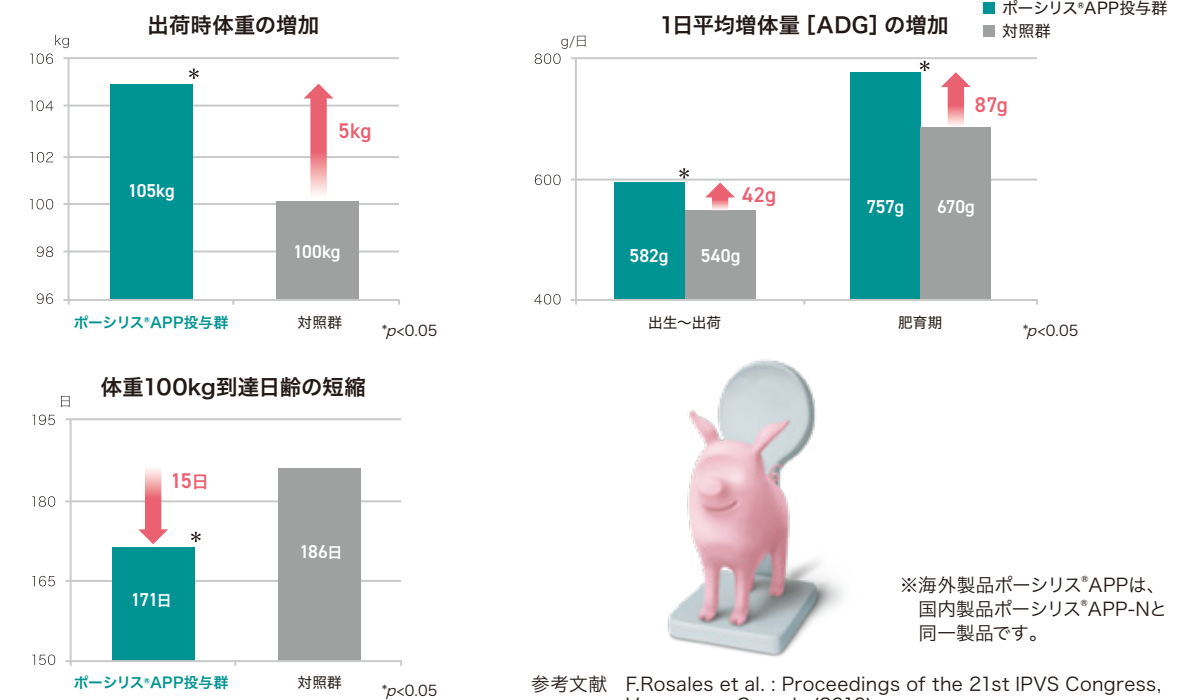
ポーシリス®APP®は、APP感染による慢性豚胸膜肺炎発生農場における生産指標を改善した！

試験設定

母豚1,200頭一貫経営農場(シングルサイト)
チアムリン及びクロルテラサイクリンを飼料添加(140日齢まで)

試験群	供試頭数	投与週齢	用量
ポーシリス®APP®投与群	1,921	7及び11	2mL×2回
非投与対照群	1,932	-	-

結果



MSDアニマルヘルスのPRDC対策製品

APP対策



ポーシリス®APP-N



※写真はフロロコール®2%液
豚用フロロコール®製品



コバクタン®



ズプレボ®40注射液

豚丹毒対策



ポーシリス® ERY



ポーシリス® PCV M Hyo



ポーシリス® PCV



エムパック®

注意 — 獣医師の処方箋・指示により使用すること。上記製品の使用に際しては各製品の添付文書を参照のこと。